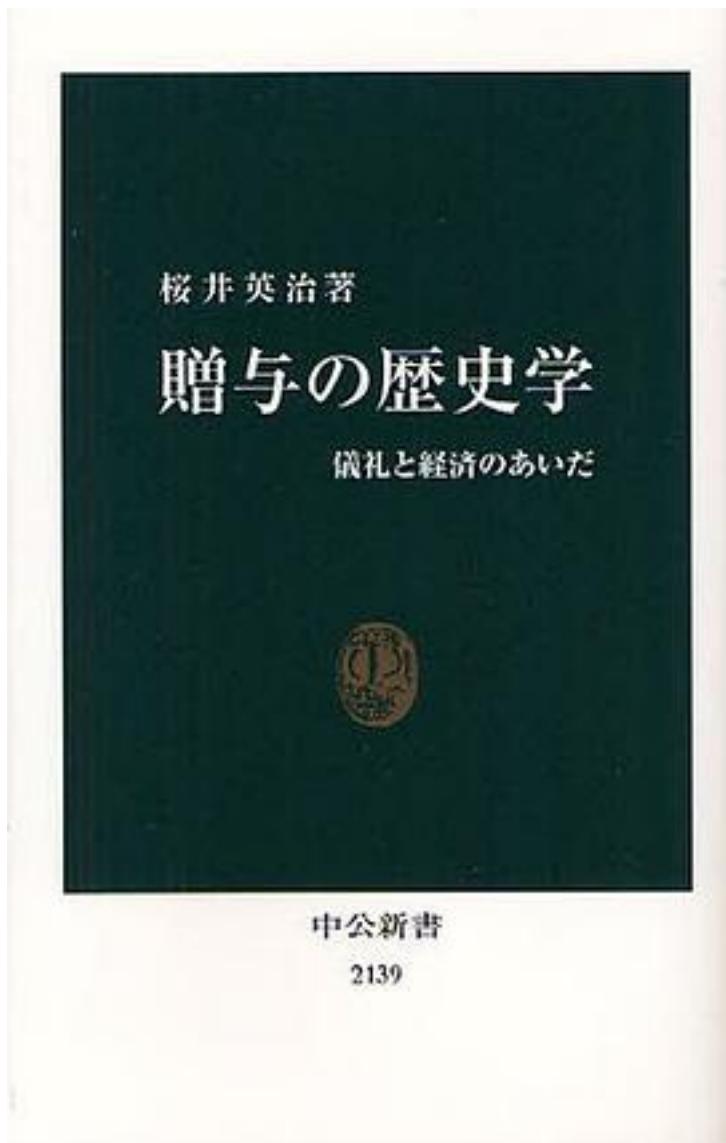


贈与の歴史学



[贈与の歴史学 下载链接1](#)

著者:桜井 英治

出版者:中央公論新社

出版时间:2011-11

装帧:新書判

isbn:9784121021397

贈与は人間の営む社会・文化で常に見られるものだが、とりわけ日本は先進諸国の中でも贈答儀礼をよく保存している社会として研究者から注目を集めてきた。その歴史は中世までさかのぼり、同時に、この時代の贈与慣行は世界的にも類を見ない極端に功利的な性質を帯びる。損得の釣り合いを重視し、一年中贈り物が飛び交う中世人の精神を探り、義理や虚礼、賄賂といった負のイメージを纏い続ける贈与の源泉を繙く。

[文学賞情報]

2013年第10回 角川財団学芸賞受賞

2012年第10回 角川財団学芸賞受賞

作者紹介:

桜井 英治 (サクライ エイジ)

1961年茨城県生まれ。東京大学文学部卒業、同大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。北海道大学助教授を経て、東京大学大学院総合文化研究科准教授。専攻は日本中世史、流通経済史（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目録: 第1章

贈与から税へ（四つの義務；
神への贈与；人への贈与）；

第2章

贈与の強制力（有徳思想一神々からの解放；
「例」の拘束力；

「相当」の観念と「礼」の秩序）；

第3章

贈与と経済（贈与と商業；

贈与と信用；

人格性と非人格性の葛藤）；

第4章 儀礼のコスモロジー（“気前のよさ”と御物の系譜学；

劇場性と外在性；

土地・労働・時間）

・・・・・ (收起)

[贈与の歴史学 下載链接1](#)

标签

日本史

日本历史

赠与

贿赂

腐败

礼物

前现代

★

评论

[贈与の歴史学 下载链接1](#)

书评

[贈与の歴史学 下载链接1](#)